

令和2年度第2回中山間地域振興協議会の概要について

〔広島県地域政策局〕
中山間地域振興課

1 日 時

令和3年2月12日（金） 14:00～14:40

2 場 所

Web会議

3 議 題

- (1) 「第Ⅱ期広島県中山間地域振興計画」の策定について
- (2) 令和3年度中山間地域の振興に向けた取組について

4 知事あいさつ（要旨）

これまで様々な意見をいただきながら検討を進めてきた「第Ⅱ期中山間地域振興計画」については、先月、策定をしたところであり、皆様の御協力に、厚くお礼申し上げます。今後とも、県と市町がさらに連携を強化し、計画に掲げる施策を積極的に推し進め、中山間地域の振興に取り組んでいきたい。

5 主な意見等

- ・ 過疎法が新たに制定されるが、第Ⅱ期中山間地域振興計画は、新たに過疎地域に指定される地域を含めての計画となっているのか。
- ・ 関連事業の27ページに記載の「持続可能な生活交通体系」について、コロナ禍で交通事業者の経営が苦しい状況である。赤字路線について、町として赤字補填をして、維持できないかという話があり、それを町単独でやることになると、大きなお金であるし、逆にそれをやらないと、民間のバス路線がすべてなくなるという状況になりかねない。県としても、都市部へのアクセスや自治体間の移動手段など大きなところへのアクセスについて、コミットしていただきたい。
- ・ 生活交通を維持するというのが、悩みの一つであるが、一方で高速バスが止まっている。空港とのアクセスについて、現在は空港からの直接のアクセスがない中で、他市町と一緒に取り組める観光客並びにビジネスの方を空港から誘導できる何かしらの方法がないかなと模索している。そうしたことについて、独自の民間コミュニティバスか何かを運行できるのか、あるいは、他にそうしたことに対する取組の仕方があるのか教えていただきたい。
- ・ 中山間地域振興計画をまとめていただき、感謝する。中山間地域の一首長として大変心強く思っているし、これから色々勉強させてもらえればと思っている。空き家の利活用について、来年度の関連事業としては、空き家の情報発信について、ぜひ力添えをいただきながら、利活用に対する支援も、改めて、引き続き御検討いただきたい。
- ・ 空き家の利活用、老朽化対策について計画では取り上げてもらっているが、来年度、関連事業として何か挙げていれば、教えていただきたい。また、観光の関係で、道の駅の機能向上についても、本文では触れていただいているが、これも何か具体的な取組が

あれば教えていただきたい。

- ・ 「住民自治組織協働連携モデル推進事業」について、取組事例の中に、「生活交通」というのがある。先日、島嶼部のある自治会に行って、「大型バスから小型バスに変えて便数を減らします」という説明をしたら、バスのことよりも、例えば近所の人の子に乗せてもらうとかできないのかという方に関心が強かった。この生活交通を住民自治で連携して解決していこうというのは大変素晴らしいことだと思うが、予算1千万円でどういことをやろうとしているのか。生活交通について、どのように進めていくのか教えていただき、一緒にやらせてもらいたい。
- ・ 鉄道の運輸関係の収益が上がる事業が無くなっているため、赤字路線については廃線にしなければならない状況になってきている。同様にバス事業者は観光バスと高速バスは最大の収益事業だったのが、そのことが出来なくなっているため、生活交通を見直さなければならない状況になっている。観光プロダクト開発とか言うよりも、そちらの支援が今の中山間地域には必要ではないかと思うので、検討いただきたい。
- ・ デジタル技術を活用してのスマート農業等をはじめとする実証的な取組といった、テクノロジーを活用した新しいモデルづくりへのチャレンジについては、積極的に取り組んでいきたい事柄であるが、一番大事になってくるのは、実証でモデルとして上手くいくことが分かれば、ビジネスとして回していくことである。事業を申請する段階のためのコンソーシアムということも書かれているが、チャレンジした民間企業のビジネスが社会実装されて、応援体制づくりのところにも配慮をいただきながら今後制度設計をしていただきたい。

以上